

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立向島中学校 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

○言語活動の充実(学びあい学習やグループワークを通した言語力の育成) ○規範意識の醸成 ○基本的生活習慣の確立

## 2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	平成26年10月7日	評価日	
1 確かな学力	言語活動の充実と授業改善	すべての教科において学びあい学習やグループワークを意識して取り入れる等を含めた授業改善。学力向上プロジェクト委員会の活発化	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	授業は分かりやすく工夫されている93% 授業では話し合い活動が取り入れられている90%毎時間の授業で学習のねらいが示されている89%	⇒	リーディングの指定を受け、学力向上プロジェクトで研究を深め、全教科で学びあい学習やグループワークを何らかの形で取り入れた授業形態が少しずつ定着してきた。 家庭学習では、毎日の英単語学習プリントには取り組めているが、総体的に家庭学習の時間が短く、自学自習が出来ていない。	学びあいやグループ学習に重点を置いた授業改善を推進し、言語活動を充実させる。 授業規律の確立。 授業研修や授業公開を行う。	⇒
	読書活動の推進	朝読書の取組 昼休みや放課後の図書館開館 ブックフェアの開催	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	朝読書や家庭で進んで読書をしている71%		リーディングの指定に伴い、より研究を深める。 学力向上プロジェクトをさらに機能させる。		
	家庭学習の充実	毎日の英単語プリント 学習確認プログラムの活用	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	家庭学習を毎日進んで行っている72% 学習確認プログラムを活用して計画的に学習している		家庭学習について、課題の出し方や量等を、学年と教科が連携しながら工夫改善を図る。また、家庭とも連携を深める。		
2 豊かな心	温かな学校・学年・学級作り(協働の意識)	毎日の全員清掃の取組 様々な学校や学年行事の取組	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	温かな学校・学年・学級に近づいていると思う92% 学校生活全般として楽しく充実している92%	⇒	全員清掃の取組はすいぶん定着してきた。 音楽コンクールや体育大会などの行事では、自分以外の学級や学年に対して、温かな雰囲気で応援等が出来ていた。	生徒会活動を活発化させる中で、生徒の自主的な高まりを求めて。 より、コミュニケーション能力が高まるような取組や授業の工夫を行う。	⇒
	人権を尊重する意識の向上	人権学習性教育 国際理解教育 道徳・教科を通した人権教育	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	いじめは絶対に許さないという意識である95% 他者を思いやるなど相手の立場になって考えた行動が出来ている94%		規範意識や人権尊重の態度はおおむね出来ているという回答であるが、細かい校則違反や、ケータイがらみのトラブルはまだ多い。 道徳は、学年道徳や副担任による道徳など工夫も行った。	より今日的な課題や、生徒の身近な問題について共に考え行動が出来るような学習計画を構築していく。 道徳の公開授業を行う。	
	規範意識の醸成	生徒会を中心とした様々な活動	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 全国学力調査質問紙	校則はきちんと守っている91% 先生や来校者への挨拶、礼儀、言葉使い、服装はきちんと出来ている95%		地域の中で生徒の活動の場を広げていくために協力出来ることは進めていきたい。 地生連等ともに協力を図りながら啓発活動を進めたい。 地域や保護者の方たちに、学校に足を運んでいただけるように様々な支援を行う。		
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	生徒会活動の活性化による点検活動と呼びかけ・啓発活動	健康生活アンケート(小中連携) 全国学力調査質問紙	朝食を毎日食べていますか86% 平日ケータイ等の使用時間2,3時間以上29%	⇒	睡眠時間が短く寝るのも遅い。ケータイやテレビ・ビデオにかける時間が長い。よりいっそうの指導・啓発が必要。家庭学習との関連性に対する対策も重要。	家庭との連携を深める。 ケータイ依存生活にならないように、情報モラムと合わせて自律的な生活習慣の確立へ向けた指導を行う。	⇒
	生徒十訓の取組	生徒十訓の日 生徒十訓ばっちり週間	学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 生徒十訓アンケート	生徒十訓を意識して学校生活を送っている83%		生徒十訓の取組をより推進するため、11個の項目別に実践率を見ている。おおむね良好ではあるが、挨拶や言葉使いなどについてと覚える率は低い。	生徒十訓の取組は、生徒のキャリア形成の視点からも重要な実践である。教職員の意識の高揚を徹底し、生徒共に活動を推進していく。	
4 独自の取組	小中連携	小中合同研修会の実施 小中各種主任会の実施 オープンスクールの実施			⇒	小中一貫校創設に向けて具体的に進み出したので、今後のより細かい動きに対しても情報交流が大切である。	地域と学校の架け橋となり、より支援を行っていきたい。	
						生徒十訓の取組は大切であると思われる所以、引き続き継続していくほしい。		